

浜	6年							
	算数							
学習内容	7月の学習内容 No.16 相似(1) No.17 相似(2) No.18 面積比(1) No.19 面積比(2)							
家庭学習ポイント	No16では、まず縮尺について学びます。相似比が理解できた段階で、具体的に三角形の相似（ちょうちょ型、ピラミッド型）について学び、さまざまな類題で相似比から辺の長さを求める練習です。三角形を3分割する問題についても学習します。 No17では、まず直角三角形の相似について学習します。また長方形や正方形を折り曲げる問題も学びます。はみ出した部分にできる三角形がすべて相似形になるもので、入試頻出です。その他、太陽の光による影、電灯による立体的な影の問題も難関校では「定番」の出題ですね。No18のテーマは「区切り面積」です。三角形の辺を等間隔に切る問題、「台形ペケポン」と呼ばれる、台形を2本の対角線で切ったときの面積比など、いずれも入試問題に非常によく出てくる問題パターンです。円と正方形がおたがいに内接する問題も「よくある」ものですね。その他「風車」「いなづま切り」「ベンツ切り」など、入試問題で最重要と言えるさまざまな問題パターンを一気に習ってしまいます。							
課題の把握と解決策	チェック1	三角形の「ちょうちょ」「ピラミッド」相似をマスターしましたか？						チェック
	解決策	いずれも「相似な三角形どうしをくらべている」ということを忘れないようにしましょう						□
	チェック2	長方形の折り返し問題の辺の長さの比で、混乱していませんか？						チェック
	解決策	相似形がたくさん出てくるので、対応する角煮○・△・×など記号を打つのがお約束です						□
	チェック3	「台形ペケポン」の面積比を完全に理解できていますか？						チェック
	解決策	「axa：bxb：axb：axb」になる理由をしっかりと説明できるようにしておくことが大切です						□
	チェック4	「風車」「いなづま切り」「ベンツ切り」...聞いたことない！というものはないですか？						チェック
	解決策	いずれも定番です。マスターテキストで確認しておきましょう						□
	チェック5	夏の時間の過ごし方について、イメージが出来上がっていますか？						チェック
	解決策	午前＝自習、午後＝夏期講習、夕方＝平常授業が続き、相当ハードです						□
浜	6年							
	国語							
学習内容	7月の学習内容 「説明的文章」 「文学的文章」 「漢字の読み書き・四字熟語・ことわざ・慣用句・ことばの意味」							
家庭学習ポイント	説明的文章では、まずは文章の「話題」をしっかり把握することが大切です。話題はほとんどの説明文では冒頭に述べられています（文章によっては冒頭に具体例、その後に話題が示されている場合があります）。読んでいく上では「因果関係」を掴むことも大切です。具体例と中心文を区別しながら「筆者が何を伝えるためにどのような具体例を出しているのか」を考えましょう。文学的文章では、出来事・心情・言動の関係を把握する必要があります。心情を掴むためには、人物の性格を捉えることも大切です。正答率を上げるためには、このような読解手順の他に、設問の出題意図を見抜く必要もあります。例えば、物語文の設問において、登場人物の言動に関しての理由説明を記述する場合は、人物の心情を入れて答えを書かなければなりません。読解の正答率が上がらない場合は、夏休みの学習に向けて、原因を見極めた方が良いでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	説明文の「話題」を正しく掴んでいますか？						チェック
	解決策	「どんな話題の話だった？」とお子さんに質問してみましょう						□
	チェック2	説明文を読む際、筆者の主張と具体例を区別できていますか？						チェック
	解決策	「～である」「～にちがいない」「～ねばならない」といった言葉に注目しましょう						□
	チェック3	物語文では登場人物の性格を読み取れていますか？						チェック
	解決策	人の性格を表す言葉「几帳面」「せっかち」「さばさば」などたくさん知っておくといいですね						□
	チェック4	場面の変化、情景描写から登場人物の心情を読み取れていますか？						チェック
	解決策	物語文では定番の読解技術です。「場面が変わった＝心情も変わった」くらいの意識が重要です						□
	チェック5	夏期講習中の復習サイクルについてイメージできていますか？						チェック
	解決策	平常＋夏期講習のサイクルをどのように回していくか、心づもりが必要です						□

SAPIX	6年							
	理科							
学習内容	7月の学習内容 No.16 化学総合 No.17 てんびんとてこ No.18 てこのつり合い No.19 ばね							
家庭学習ポイント	No.16 「化学総合」ではNo15 までに引き続き、酸性・中性・アルカリ性など水溶液の性質に関するものから中和計算まで、化学計算問題の総合的な演習になります。化学分野においては、他の分野にも活用できる「比例計算」のオンパレード。しっかり書いて「何倍か」を考え計算しましょう。No17 からは物理、力学分野の学習に入ります。No17は「てんびんとてこ」で、てこの基本的な釣り合いについて学習します。No18にかけて、てこのつり合いに関する様々なパターンの問題を演習します。いずれも入試頻出で「定番」といえる問題群です。自分で視点の位置を決めた問題に問しては「支点マーク（△）」を図に書き込むこと、棒の重さを考える問題では、棒の重さを重心の部分に↓で書き込んでおくこと、など力学計算を正確に処理するためのさまざまな手法を思い出していきましょう。No19 「ばね」も重要単元です。ばね計算でミスを連発するお子さんに共通するのは「ばねの自然長」と「のび」を書き出して整理してから解き始めず、いきなり問題を解き初めて、頭の中で処理できるギリギリの線になって初めて「問題文に戻る」という「思考が拡散」しやすい方法をとってしまっていることです。今一度、この機会にしっかり「自然長と伸びの長さを書き出す」を徹底しましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	化学計算の問題では「言葉の式」を書いていますか？						チェック
	解決策	化学計算の「お約束」ですね。しっかり書いて計算しましょう						□
	チェック2	てこの問題で図の中に支点（△）を書き込んでいますか？						チェック
	解決策	小さなことですが、混乱を防ぐために大切なことです						□
	チェック3	棒の重さを考えるてこの問題では、重心の位置に棒の重さを矢印（↓）で書き込んでいますか？						チェック
	解決策	こちらも計算制度を落とさないための「お約束」ですね						□
	チェック4	ばねの問題では「自然長」「のびの長さ」を書いてから解き始めていますか？						チェック
	解決策	ちょっとした「ひと手間」を惜しまないことで正確性はどんどん上がっていきます						□
	チェック5	夏休みの勉強法を具体的にイメージできていますか？						チェック
	解決策	塾への滞在時間、日数、学習量ともかなりの負担になります						□
浜学園	6年							
	社会							
学習内容								
家庭学習ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□